

シグマ研究委員会

ファイル作成ワーキング・グループ会合議事録

日 時 昭和57年11月5日(金) 13:30~17:30
場 所 原研本部第5会議室
出席者 浅野(住友原工), 飯島(NAIG), 宝珠山(FBEC)
吉田(NAIG)
菊池, 成田, 浅見(原研)
オブザーバ: 青木(富士), 五十嵐(原研)

配布資料

1. JENDL-2格納核種表(FM82-10)
2. EVAPSPECの入力(FM82-11)
3. File 2非分離共鳴パラメータ(FM82-12)
4. LDENSN(FM82-13)
5. ファイル作成WG資料(FM82-14)
6. JENDL-2レポート試案(FM82-15)
7. natural file作成について(FM82-16)

議 事

1. 一般報告
浅見氏から最近の運営委員会での討議事項等について報告があった。
2. JENDL-2ファイル化現状報告
各担当者から作業経過について報告があり, 問題点については討議を行った。
 - (1) Cr アイソトープのファイル化はほぼ完了(浅見)
 - (2) ^{55}Mn : 共鳴パラメータを評価中(宝珠山)
 - (3) Fe アイソトープのファイル化
 - (4) ^{59}Co の共鳴パラメータの評価を終った(青木)

- (5) Mo のアイソトープのファイル化はほぼ完了、現在 natural データを作成中（菊池）
- (6) $^{176-180}\text{Hf}$ のファイル化はほぼ終わった。CASTHY 計算の結果と非分離とのつながが悪い。 ^{174}Hf は評価する 予定はない（吉田）

3. JENDL-2 の公開の手順

浅見氏から資料 14 により、今後 JENDL-2 を公開するに当たっての手順や関連作業について説明があり、討議を行った。大筋については了承された。

4. JENDL-2 の編集上の問題点

- (1) File 5：菊池氏から File 5 の作成のためにつくった EVAPSPEC の概要および入力形式について資料 11 により説明があった。
- (2) 飯島氏から非分離共鳴パラメータの入力形式について説明があった。
- (3) LDENSN は 現在、修正のための作業を行っている。
- (4) 菊池氏から、非分離共鳴パラメータはエネルギー点を荒く与えると断面積の値がおかしくなる可能性があり、ASREP でパラメータを作るべきであるとの説明があった。

5. JENDL-2 のレポート作成について

浅見氏から、資料 6 の JENDL-2 レポート試案について説明があった後、討議を行った。主な申し合せ事項は次の通りである。

- プロット図ではデータの相互の比較ができるように、1 decade の大きさを決めた方がよい。
- 共鳴領域では平均断面積をプロットする。
- ファイル 1 の Document は、五十嵐氏のひな形をもとにして各自作成してみる。coding sheet 6 枚以内とする。ポテンシャル・パラメータ等も情報として含める。
- レポート用 Document は、評価者に依頼するとき、ファイル 1 用のものと同時に依頼する。ひな形を飯島氏、菊池氏が作成する。
- データ集についてはサンプルを作成して次回に討議する。

6. JENDL-3 の分担表・スケジュール作成

浅見氏から、JENDL-3 の分担表およびスケジュール表については、各評価 WG と相談の上、作成したいとの説明があった。これに関連して JNDC FP file のデータを File 1 に入れることについて討論があり、この件についてはフォーマット等も含めて吉田氏が検討することになった。

7. natural file の作成について

菊池氏から、natural file を作成するときの問題点、注意事項等について次のような説明があった。

- MT = 251 ($\bar{\mu}$) の作成には注意を要する。CTOB の出力結果（共鳴領域をバックグラウンドに置きかえる以前のもの）を使用するとよい。
- natural の file 5 の作成には、CRECTJ が使えないので CRECTJ を改造するかどうか検討する必要がある。